

令和4年度茶業技術研修生入所式

当所では、茶業の担い手確保と技術や知識に加え経営力を持った人材を育成するため、大正14年から本研修を実施しており、現在までに198名の研修生を宇治茶を支える現場に送り出しています。

令和4年度は、入所式が4月11日に開催され、京都市、宇治市、宇治田原町から各1名の計3名が入所しました。研修生は、当所職員の指導を受けながら、1年間のほ場実習、製茶実習、講義カリキュラムを通じて、茶業経営の技能の習得に努めるとともに、就農後に直面する課題を想定し、1人1課題のプロジェクト研究に取り組みます。



所長の式辞を聞く研修生



入所にあたり宣誓する研修生